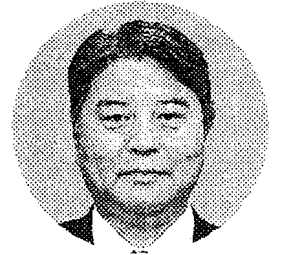


郵政特別委に県内議員2人



桜井 郁三氏

郵政民営化関連法案を審議する衆院郵政民営化特別委員会の自民党委員(二十三人に、県内からは麻生太郎

河野グループは十九日の総会で、森英介氏(千葉11区)と桜井氏の二人を同委員として党執行部に推薦。ところが、翌二十日の夕方に連絡が入ったのは桜井氏に加え、松本氏だった。松本氏は「正直、驚いた。長時間の審議になると思う

低下させない、職員がやりがいを持てる職場をつくる、国益につながる改革にする、の三つを原則に取り組む」と語った。

一方、桜井氏は、反対派の綿貫民輔氏が主宰する勉強会に顔を出したこともあったが「小泉改革を進めるためにも賛成の立場で臨む」と旗幟を鮮明にした。さらに「(郵貯と簡保を合

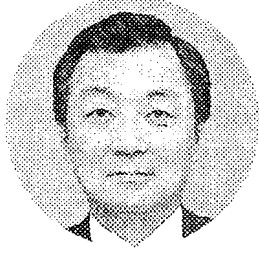
「改革の推進を」 桜井氏

松本氏 「論点を明確に」

総務相の下で政務官を務める松本純氏(1区)と、桜井郁三氏(比例南関東)の二氏が名を連ねた。民主・社民両党の審議拒否が続

が(民営化を)推進する立場で審議に臨み、国民に論点を明確にできれば」と抱負。政務官で唯一の委員入りだが「法案をただ通すのではなく、郵便サービスを

わせた)三百五十兆円の巨額資金をどうするか、地方の利便性などで議論を深めたい」と語る一方、審議拒否する民主・社民両党を「職場放棄と一緒。民主主義を否定する行為だ」と批判した。



松本 純氏

かながわ
国会
情報

(高本 雅通、
佐々木航哉)